

事務事業名	歴史研究所教育事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	歴史研究所	H29係等名	総務係	H28担当課等名 歴史研究所				
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
	施策	29	ふるさと意識の醸成					
目的	対象(誰・何を)	市民 小・中・高校生		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	歴史・文化への関心・理解			飯田市の人口(人) (H28.10.1推計人口)		100957	
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)			小・中・高校生生徒数 (学校基本調査 H28.5.1)		12251	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	受講した市民の数		2400	2295	1500	1680	
	成果指標	出前講座等に参加した小・中・高校生の数(延べ)		150	77	180	67	
定性目標								
事業概要	<p>1 地域市民の学びを支援するセンターとして、様々な学びの機会を提供</p> <p>2 各地区で取り組まれている地域市民による史料調査や地域の学習・研究活動を協働・支援し、「地育力」を高める活動を実施</p> <p>3 市民を対象にした外部講師(大学教授等)による高等教育水準学術講座の定期的な開催や、調査研究活動を基礎にした研究所スタッフの指導により、市民が主体的に自らの歴史を学んでいく環境を提供</p> <p>4 市民が主体的に歴史を学んでいくゼミナール等を中心に、地域の歴史・文化を発見し、豊かな人材を育成</p> <p>5 若い世代がこの地域の歴史を学び、かつより広い視野を持つ機会を提供し、この地域を大切に思う心を醸成</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	<p>1 飯田アカデミアの開催</p> <p>2 歴研ゼミナールの開催 近世史・建築史・近現代史・満洲移民研究・思想史</p> <p>3 地域史講座の開催 歴研刊行物などをテキストとし、最新の地域史研究の成果を発表する講座</p> <p>4 出前講座(研究団体・公民館等と連携)の開催、体験学習の受入れ</p> <p>5 歴研ニュースの発行</p> <p>6 市民研究員の募集・育成</p>			<p>1 アカデミア開催数</p> <p>2 歴研ゼミナール開講数</p> <p>3 地域史講座開催数</p> <p>4 出前講座開催数</p> <p>5 歴研ニュース発行回数</p> <p>6 市民研究員の人数</p>		<p>1 3回</p> <p>2 107回</p> <p>3 6回</p> <p>4 10回</p> <p>5 6回</p> <p>6 6人</p>		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		944	1,091	911	0	(そ) 諸収入		
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他		52	70	58				
一般財源		892	1,021	853				
人件費計(千円)②		5,722	0	3,684	0			
正規職員所要時間		1,600		1,000				
臨時職員所要時間				100				
総事業費①+②		6,666	1,091	4,595	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り		<p>公民館・団体等に出前講座を行い、地域を知る機会とした。</p> <p>出版した『飯田・上飯田の歴史』に関係した内容での地域史講座を開催した。</p>						
改革改善の考え方	①問題点	アカデミアは、高等教育水準の学術講座であるため、内容が専門的で一般的には受け入れにくい部分がある。						
	②改革提案	講座の内容を当地域に関連するものを中心とし、市民・受講者の関心が向く工夫をする。アンケートを行い、希望するテーマに沿った講師の選定をする。地域史・出前講座を積極的に行い市民へ還元する。						